

News Release

2016年12月12日

報道資料

パイオニア製サウンドシステムがLEXUS LCに標準装着

パイオニアはスピーカーを祖業として1938年に創業し、常に音にこだわった製品を生み出してきました。その歴史の中で、トヨタ自動車株式会社が1989年に導入した初代LEXUS LS^{※1}に標準装着されて以来、25年以上に渡り、LEXUSにふさわしいサウンドシステムを作り続けています。

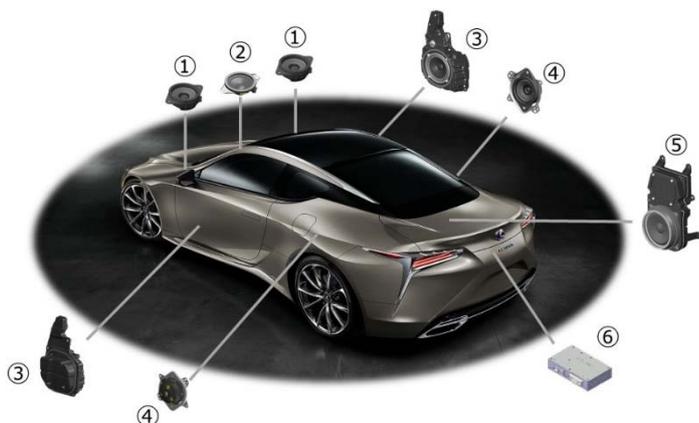
このたび新型ラグジュアリークーペ LEXUS LC (2017年春頃の発売予定)に標準装着される当社製サウンドシステムは、当社が長年培ってきた車載音響技術に加え、ハイエンドオーディオブランドとして揺るぎない地位を築いているTAD^{※2}の技術も投入し、音楽に込められたアーティストの想いを正確に再現する革新的なサウンドを実現しています。優れた音場効果を発揮するスピーカー配置、新開発ボックス型ドアウーファーや車両ボディの強化による不要振動と不要音の徹底排除など、車両構造まで考慮した新世代の「LEXUS LC Premium Sound System」を創り上げています。

※1 日本ではトヨタ セルシオとして販売

※2 TAD: パイオニアの100%子会社である Technical Audio Devices Laboratories, Inc. (株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ)が展開するブランド。その製品は1978年に米国で発売されて以来(国内では1981年発売)、プロフェッショナル用スピーカー・ユニットとして世界の著名な録音スタジオに採用されるなど、高い信頼と評価を得ています。 <http://tad-labs.com/jp/>

【「LEXUS LC Premium Sound System」の概要】

新開発の8チャンネルフルデジタル Class-D アンプと12個のスピーカーで構成され、当社が長年培ってきた独自の音響技術を活かして原音に忠実な再生を実現しています。TADで培った技術に基づき新開発した車載用「CST」スピーカーは、ハイエンドオーディオに匹敵する前方音像定位と豊かに広がる自然な音場を高い次元で両立しており、心地よく上質な車室空間を提供します。



①インパネサイド	9cm CST ×2
②インパネセンター	9cm Midrange ×1
③フロントドア	16cm Box Woofer ×2
④リアクォーターサイド	9cm CST ×2
⑤リアシートバック	25cm Sub-Woofer ×1
⑥ラゲッジフロア下	8ch Class-D AMP ×1

※CST: Coherent Source Transducer の略
2スピーカー(ミッドレンジ+ツイーター)

【車両写真】



※車両画像・写真は本リース用に当社が LEXUS より利用許諾を得たものとなります。
転載、転用を一切禁じます。